

令和4年度

盛岡地域県立病院運営協議会

日 時 令和5年1月16日(月)

15:00～

場 所 県立中央病院4階大ホール

～ 次 第 ～

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 職員紹介
- 4 会長・副会長互選
- 5 会長あいさつ
- 6 開催病院長（県立中央病院長）あいさつ
- 7 医療局長あいさつ
- 8 議 事
 - (1) 県立病院の現状と課題について
 - (2) 岩手県立中央病院の現状と課題について
 - (3) 岩手県立中央病院及び附属地域診療センターの経営状況について
 - (4) その他
- 9 質 疑
- 10 閉 会

盛岡地域県立病院運営協議会委員

	区 分	職 名	氏 名	備 考
1	市町村	盛岡市長	谷藤 裕明	
2	市町村	岩手町長	佐々木 光司	
3	市町村	紫波町 紫波町長	熊谷 泉	
4	学識経験者	岩手県議会議員（盛岡選挙区）	米内 紘正	
5	学識経験者	岩手県議会議員（盛岡選挙区）	小西 和子	
6	学識経験者	岩手県議会議員（八幡平選挙区）	千葉 伝	
7	学識経験者	岩手県議会議員（紫波選挙区）	臼澤 勉	
8	医療関係団体	一般社団法人 盛岡市医師会 会長	吉田 耕太郎	
9	医療関係団体	一般社団法人 岩手西北医師会 会長 （代理：岩手西北医師会 理事）	高橋 邦尚 （代理：高橋 清実）	代理出席
10	医療関係団体	一般社団法人 紫波郡医師会 会長	木村 宗孝	
11	医療関係団体	一般社団法人 岩手県歯科医師会 専務理事	大黒 英貴	
12	医療関係団体	盛岡薬剤師会 会長	佐々木 俊	
13	医療関係団体	公益社団法人 岩手県看護協会 会長	相馬 一二三	
14	関係行政機関	岩手県県央保健所 所長 （代理：岩手県県央保健所 医療介護課長）	田名場 善明 （代理：四日市良一）	代理出席
15	関係行政機関	盛岡市保健所 所長	矢野 亮佑	
16	関係行政機関	盛岡地区広域消防組合消防本部 警防課長	瀬川 浩樹	
17	関係行政機関	岩手町保健推進員協議会 会長	竹田 裕子	
18	社会保険団体	盛岡市国民健康保険運営協議会 会長	村田 芳三	
19	社会保険団体	紫波町国民健康保険事業運営協議会 会長	松坂 みき子	欠席予定
20	婦人団体	もりおか女性の会 会長	柴崎 一恵	
21	婦人団体	紫波町連合婦人会 会長	富岡 敦子	
22	その他	アイリスの会 役員	末永 和恵	

目 次

1	盛岡保健医療圏内県立病院群の一体的運営の状況	1
	(1) 県立病院群の機能分担・連携	1
	(2) 県立病院群の一体的・効率的運営に向けた取組状況	1
	(3) 中央病院からの診療応援状況	1
2	盛岡保健医療圏内県立病院群の医療資源等の状況	2
	(1) 診療科及び医師数の状況	2
	(2) 基本的機能等	3
	(3) 部門別常勤職員数	3
3	盛岡保健医療圏内県立病院群の患者数	4
	(1) 診療科別1日平均患者数	4
	入院	4
	外来	5
	(2) 1日平均入院患者数の推移	6
	うち新入院患者数	6
	(3) 病床利用率と平均在院日数の推移	7
	(4) 1日平均外来患者数の推移	8
	うち新外来患者数	8
	(5) 紹介率・逆紹介率の推移	9
4	盛岡保健医療圏内県立病院群の経営収支の推移	10
5	盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況	12
6	盛岡保健医療圏内救急患者数状況	13
	(1) 救急患者数状況	13
	(2) 救急車搬送状況	13
7	3施設の事業運営方針等	15
	(1) 中央病院	15
	(2) 沼宮内地域診療センター	19
	(3) 紫波地域診療センター	20
8	令和3年度岩手県立病院等事業会計決算概要	21

1 盛岡保健医療圏内県立病院群の一体的運営の状況

(1) 県立病院群の機能分担・連携

◇ 中央病院

急性期高機能センター病院として、盛岡医療圏はもとより岩手県全域を対象とした、先進・高度・特殊医療機能を提供しているほか、基幹型臨床研修指定病院として、教育・研修機能・医療情報機能を併せ持ち、加えて、地域の病院や診療所に対して診療応援を行うなど県立病院のセンター病院としての機能を担う。

◇ 中央病院附属紫波地域診療センター

センター病院(中央病院)等の支援を得ながら、紫波地域のプライマリーケア(初期医療)や慢性期医療を担う。

◇ 中央病院附属沼宮内地域診療センター

センター病院(中央病院)等の支援を得ながら、沼宮内地域のプライマリーケア(初期医療)や慢性期医療を担う。

(2) 県立病院群の一体的・効率的運営に向けた取組状況

圏域の業務(材料等の共同調達、検体検査業務、滅菌業務、外部業務、経理、委託等)をセンター病院(中央病院)に集約し、効率的な運営を図っている。

また、医師や他の職種の診療センター等への診療応援・業務応援を安定的に行っている。

※ 以下の表及びグラフについては、「中央病院附属紫波地域診療センター」を「紫波センター」と表示する。

※ 以下の表及びグラフについては、「中央病院附属沼宮内地域診療センター」を「沼宮内センター」と表示する。

(3) 中央病院からの診療応援状況

(単位:件) 【参考】 (単位:件)

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
県立病院	2,403	2,778	2,679	3,262	3,069
うち紫波センター	23	24	25	24	24
うち沼宮内センター	303	197	197	225	247
うち長期応援	881	1,580	1,434	2,036	1,608
市町村立病院等	764	934	731	625	639
合計	3,167	3,712	3,410	3,887	3,708

区分	R4.11月累計
県立病院	2,039
うち紫波センター	16
うち沼宮内センター	183
うち長期応援	1,220
市町村立病院等	388
合計	2,427

2 盛岡保健医療圏内県立病院群の医療資源等の状況

(1) 診療科及び医師数の状況(令和4年11月1日現在) (単位:人)

区分	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	計
内科		2	1	3
血液内科	6			6
総合診療科	4			4
糖尿病・内分泌内科	4			4
腎臓・リウマチ科	9			9
精神科	2			2
脳神経内科	7			7
呼吸器内科	3			3
消化器内科	11			11
循環器内科	12			12
小児科	8			8
外科	1	1	1	3
乳腺・内分泌外科	3			3
消化器外科	13			13
整形外科	8			8
形成外科	3			3
脳神経外科	5			5
呼吸器外科	4			4
心臓血管外科	7			7
小児外科	2			2
皮膚科	4			4
泌尿器科	4			4
産婦人科	7			7
眼科	2			2
耳鼻咽喉科	3			3
リハビリ科	1			1
放射線科	8			8
歯科口腔外科	3			3
ペインクリニック科	1			1
がん化学療法科	1			1
麻酔科	12			12
ICU科	1			1
臨床検査科	1			1
病理診断科	7			7
				0
小計	167	3	2	172
2年次研修医	13			13
1年次研修医	17			17
小計	30	0	0	30
合計	197	3	2	202

※現員報告から(兼務発令・
他病院への研修等は除く)

(2) 基本的機能等(令和4年11月1日現在)

区分	施設 類型	病床数(床)			救急医療			特殊診療機能・器械						
		一般	結核	計	救急 告示	二次 輪番	小児 輪番	がん放 射線	理学	作業	人工 透析	MRI	CT	PET CT
中央病院	センター	685		685	○	○	○	○	○	○	○	○	高精度	○
紫波センター	診療所	0		0									○	
沼宮内センター	診療所	0		0									○	
盛岡医療圏		685	0	685										

主な医療施設基準、認定、専門外来等

中央病院	救命救急センター、地域がん診療拠点病院、地域医療支援病院、地域災害拠点病院、臨床研修指定病院及び臨床研修評価機能認定病院、日本医療機能評価機構認定病院、がん看護専門外来・スキンケア専門外来・糖尿病療養支援外来、患者用図書室開設等
紫波センター	隣接する介護老人福祉施設との連携 明細書発行体制加算、検体検査管理加算1
沼宮内センター	近隣の介護老人福祉施設との連携 明細書発行体制加算、検体検査管理加算1、遠隔画像診断

(3) 部門別常勤職員数(令和4年11月1日)

区分	正規職員 (単位:人)				会計年度任用職員 (単位:人)			
	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計
医師	165	3	2	170	32			32
薬剤部門	35			35	17		2	19
放射線部門	37		1	38	5	1		6
検査部門	36			36	12	1	2	15
看護部門	595		2	597	173	3	3	179
歯科衛生士	3			3	1			1
臨床工学技士	18			18				0
視能訓練士	4			4				0
理学療法士	25			25	1			1
作業療法士	9			9				0
言語療法士	8			8				0
事務部門	35	1	1	37	88	2	2	92
医療情報管理士	2			2	3			3
医療社会事業士	6			6				0
栄養管理部門	23			23	20			20
公認心理士	3			3	2			2
運転技士				0	1			1
合計	1,004	4	6	1,014	355	7	9	371

3 盛岡保健医療圏内県立病院群の患者数

(1) 診療科別1日平均患者数(令和3年度)

(単位:人)

区分	入院(R03年度)			計
	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	
内科				0
血液内科	36			36
総合診療科	11			11
糖尿病・内分泌内科	12			12
腎臓・リウマチ科	35			35
精神科				0
脳神経内科	40			40
呼吸器内科	29			29
消化器内科	65			65
循環器内科	56			56
小児科	14			14
外科				0
乳腺・内分泌外科	8			8
消化器外科	46			46
整形外科	39			39
形成外科	4			4
脳神経外科	31			31
呼吸器外科	14			14
心臓血管外科	17			17
小児外科	2			2
皮膚科	5			5
泌尿器科	16			16
産婦人科	41			41
眼科	2			2
耳鼻咽喉科	6			6
放射線科	0			0
歯科口腔外科	2			2
ペインクリニック科	0			0
がん化学療法科	3			3
救急センター科	1			1
附属診療所				0
計	535	0	0	535

(単位:人)

【参考】入院(R4.11月累計)			
中央病院	紫波センター	沼宮内センター	計
			0
37			37
15			15
8			8
31			31
			0
40			40
25			25
62			62
50			50
12			12
			0
8			8
45			45
43			43
3			3
33			33
12			12
23			23
1			1
4			4
17			17
35			35
2			2
6			6
0			0
1			1
0			0
3			3
1			1
			0
517	0	0	517

(単位:人)

区分	外来(R03年度)			計
	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	
内科		26	36	62
血液内科	52			52
総合診療科	12			12
糖尿病・内分泌内科	35			35
腎臓・リウマチ科	69			69
精神科	5			5
脳神経内科	23			23
呼吸器内科	39			39
消化器内科	98			98
循環器内科	71			71
小児科	39			39
外科		5	6	11
乳腺・内分泌外科	46			46
消化器外科	47			47
整形外科	34		1	35
形成外科	16			16
脳神経外科	21			21
呼吸器外科	19			19
心臓血管外科	17			17
小児外科	3			3
皮膚科	48			48
泌尿器科	42			42
産婦人科	72			72
眼科	22			22
耳鼻咽喉科	24			24
放射線科	141			141
歯科口腔外科	26			26
ペインクリニック科	10			10
がん化学療法科	21			21
救急センター科	5			5
附属診療所			0	0
計	1,057	31	43	1,131

(単位:人)

【参考】 外来(R4.11月累計)				
中央病院	紫波センター	沼宮内センター	計	
	26	38	64	
	51		51	
	9		9	
	35		35	
	72		72	
	6		6	
	23		23	
	37		37	
	107		107	
	71		71	
	37		37	
		5	7	12
	50		50	
	48		48	
	35		1	36
	17		17	
	20		20	
	19		19	
	19		19	
	3		3	
	46		46	
	42		42	
	71		71	
	22		22	
	25		25	
	143		143	
	24		24	
	11		11	
	21		21	
	16		16	
			0	
	1,080	31	46	1,157

(2) 1日平均入院患者数の推移

(単位:人) 【参考】

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
中央病院	573	573	575	516	535
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	573	573	575	516	535
県立病院全体	3,361	3,314	3,265	2,985	2,984

区分	R4.11月累計
中央病院	517
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	517
県立病院全体	2,895

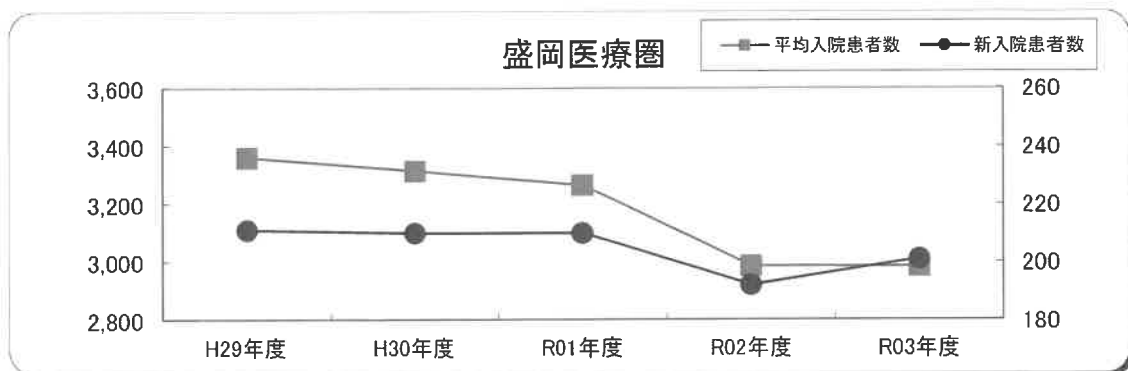
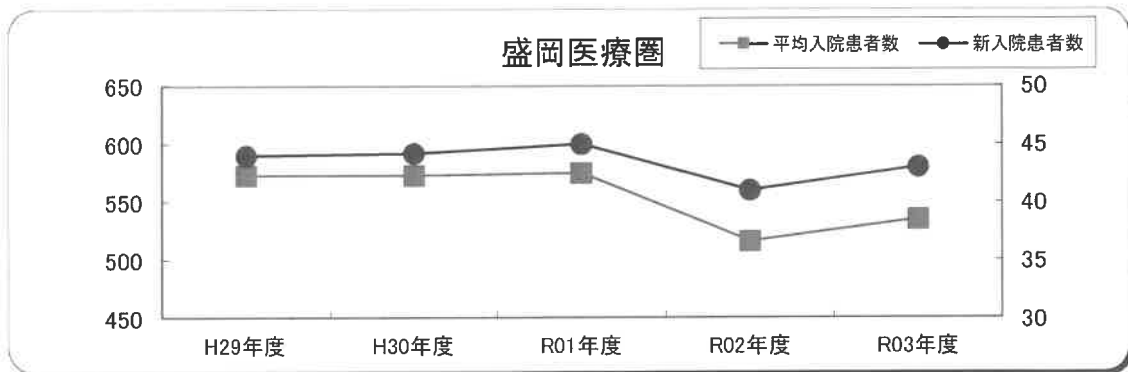
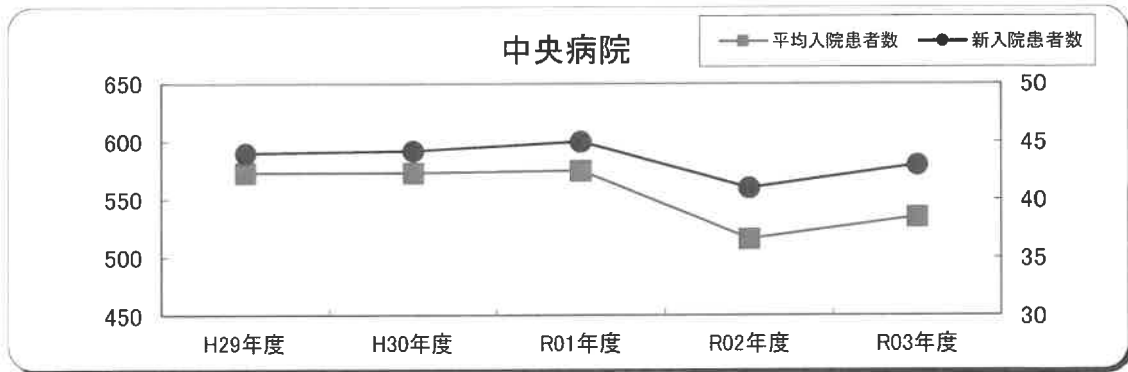
うち新入院患者数

(単位:人) 【参考】

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
中央病院	44	44	45	41	43
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	44	44	45	41	43
県立病院全体	211	210	210	192	201

区分	R4.11月累計
中央病院	42
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	42
県立病院全体	193

(グラフ単位:人)



(3) 病床利用率と平均在院日数の推移

病床利用率（一般）の推移

(単位:人)

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
中央病院	83.7	83.6	84.0	75.4	77.9
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	83.7	83.6	84.0	75.4	77.9
県立病院全体	65.6	66.0	72.7	66.8	66.6

【参考】

区分	R4.11月累計
中央病院	75.4
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	75.4
県立病院全体	65.2

※ 数値は実稼動病床数にて算出

平均在院日数の推移

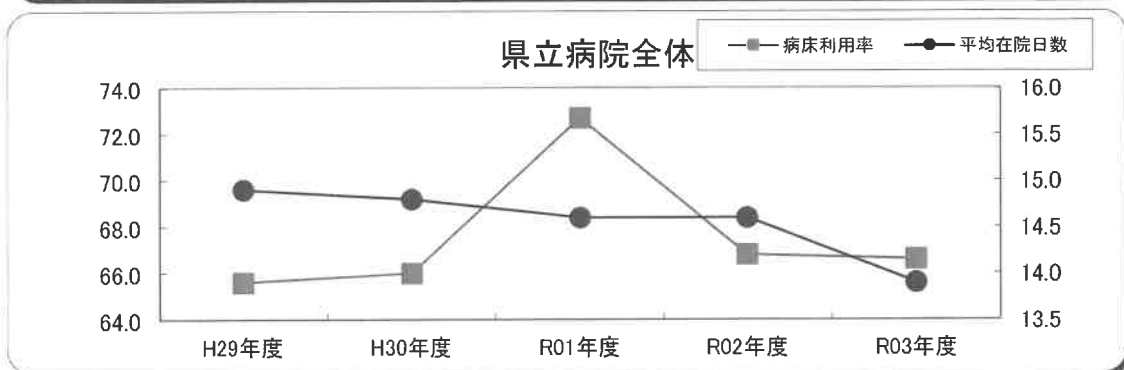
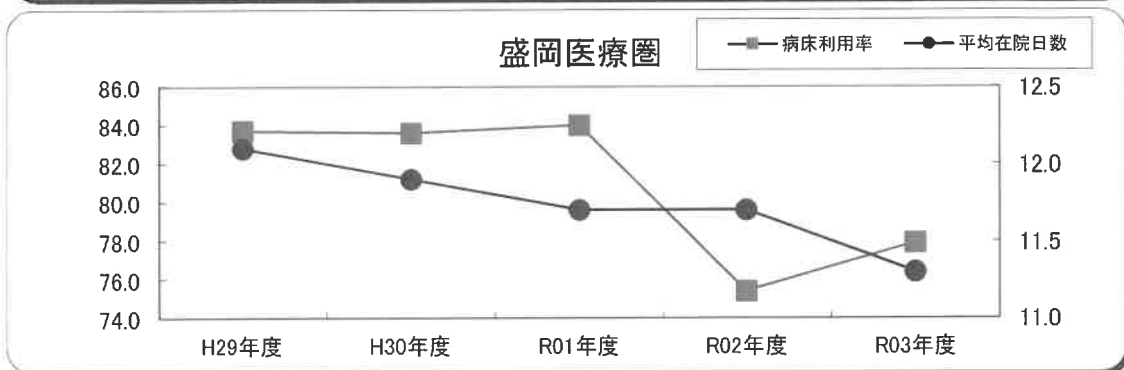
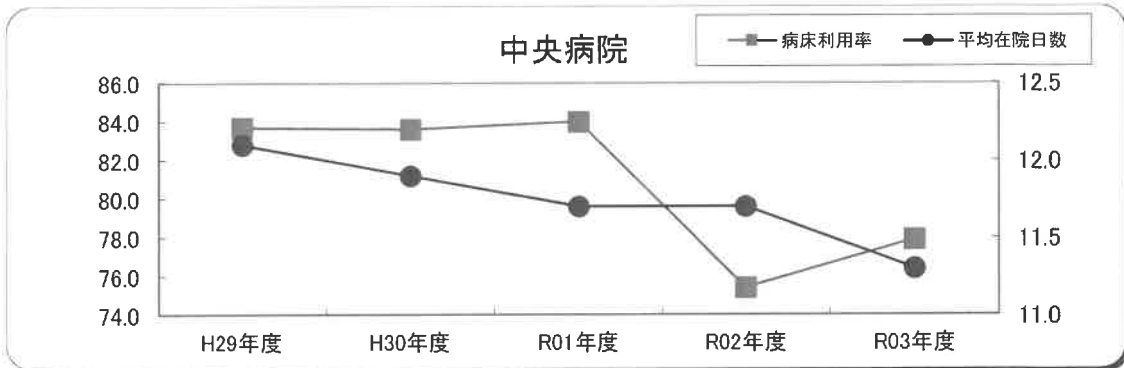
(単位:人)

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
中央病院	12.1	11.9	11.7	11.7	11.3
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	12.1	11.9	11.7	11.7	11.3
県立病院全体	14.9	14.8	14.6	14.6	13.9

【参考】

区分	R4.11月累計
中央病院	11.3
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	11.3
県立病院全体	14.3

(グラフ単位:病床利用率-%、平均在院日数-F)



(4) 1日平均外来患者数の推移 (単位:人)

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
中央病院	1,105	1,105	1,131	1,017	1,057
紫波センター	37	36	36	33	31
沼宮内センター	46	45	48	43	43
盛岡医療圏	1,188	1,186	1,215	1,093	1,131
県立病院全体	7,790	7,609	7,570	6,857	7,027

【参考】

区分	R4.11月累計
中央病院	1,080
紫波センター	31
沼宮内センター	46
盛岡医療圏	1,157
県立病院全体	7,093

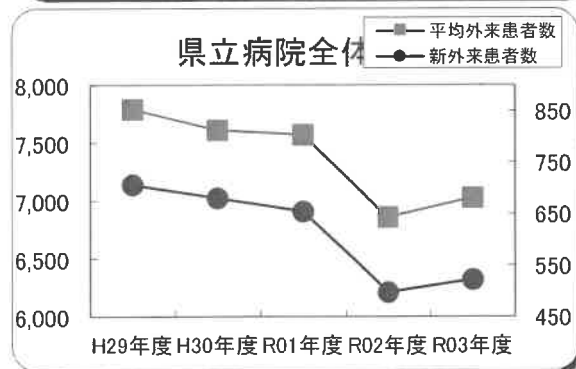
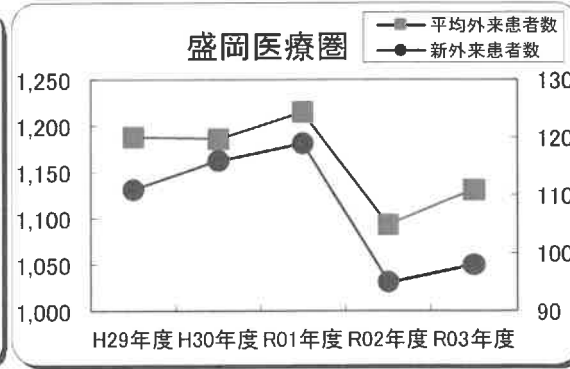
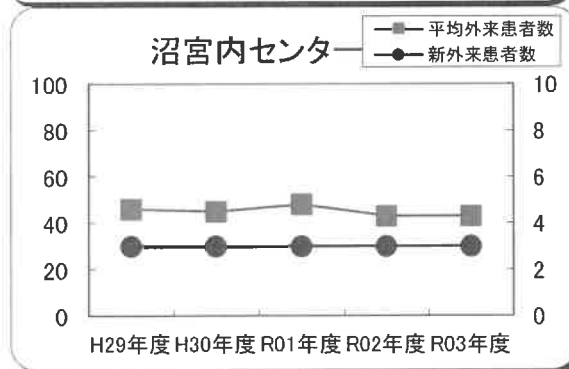
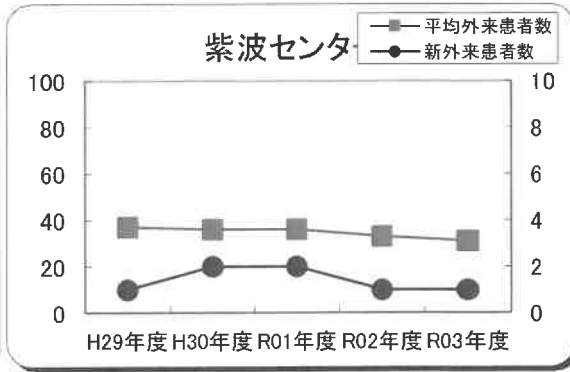
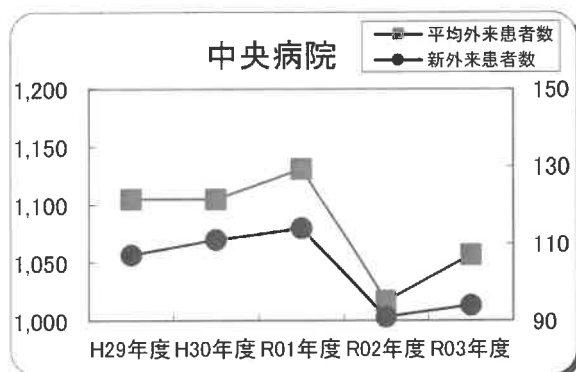
うち新外来患者数 (単位:人)

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
中央病院	107	111	114	91	94
紫波センター	1	2	2	1	1
沼宮内センター	3	3	3	3	3
盛岡医療圏	111	116	119	95	98
県立病院全体	706	680	654	497	522

【参考】

区分	R4.11月累計
中央病院	102
紫波センター	1
沼宮内センター	4
盛岡医療圏	107
県立病院全体	577

(グラフ単位:人)



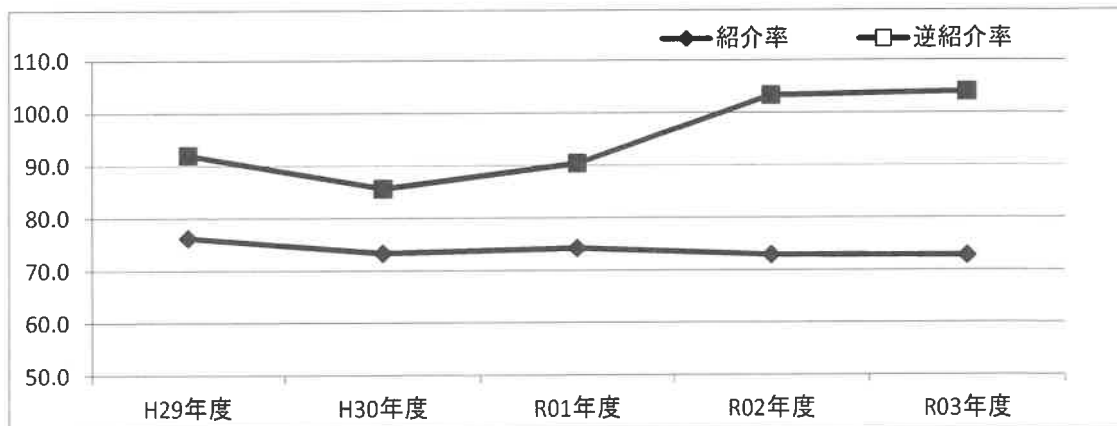
(5) 紹介率・逆紹介率の推移

紹介率・逆紹介率の推移（中央病院）（単位：％）

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
紹介率	76.2	73.3	74.2	72.9	72.8
逆紹介率	92.0	85.6	90.4	103.3	104.0

【参考】

区分	R4.10月累計
紹介率	66.8
逆紹介率	63.8



4 盛岡保健医療圏内県立病院群の経営収支の推移

(単位:千円)

区 分	令和03年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	25,920,235	2,254,118	24,855,597	1,064,638	14,204,812
紫波センター	131,622	71,804	158,108	△ 26,486	△ 3,777,000
沼宮内センター	254,155	72,189	296,991	△ 42,836	△ 1,243,159
盛岡医療圏	26,306,012	2,398,111	25,310,696	995,316	9,184,653
県立病院全体	117,667,133	15,659,052	113,352,128	4,315,005	△ 41,622,725

(単位:千円)

区 分	令和02年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	25,249,490	2,242,229	24,290,476	959,014	13,140,174
紫波センター	133,667	73,952	163,211	△ 29,544	△ 3,750,514
沼宮内センター	263,336	82,057	280,953	△ 17,617	△ 1,200,323
盛岡医療圏	25,646,493	2,398,238	24,734,640	911,853	8,189,337
県立病院全体	114,528,002	15,636,462	112,036,751	2,491,251	△ 45,937,730

(単位:千円)

区 分	令和01年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	25,775,993	2,312,515	23,982,635	1,793,358	12,181,160
紫波センター	140,832	79,055	157,162	△ 16,330	△ 3,720,970
沼宮内センター	265,987	78,897	280,836	△ 14,849	△ 1,182,706
盛岡医療圏	26,182,812	2,470,467	24,420,633	1,762,179	7,277,484
県立病院全体	109,594,497	15,564,058	110,188,260	△ 593,763	△ 48,428,981

(単位:千円)

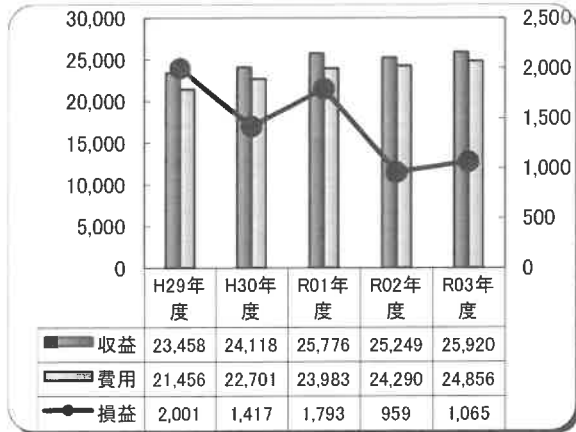
区 分	平成30年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	24,118,121	2,042,222	22,701,330	1,416,791	10,387,802
紫波センター	156,850	94,482	156,067	783	△ 3,704,640
沼宮内センター	264,020	87,938	277,426	△ 13,406	△ 1,167,857
盛岡医療圏	24,538,991	2,224,642	23,134,823	1,404,168	5,515,305
県立病院全体	107,146,408	15,540,825	108,507,436	△ 1,361,028	△ 47,835,217

(単位:千円)

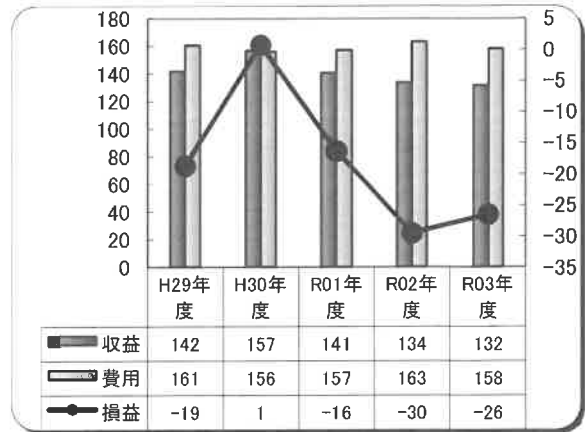
区 分	平成29年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	23,457,669	2,154,357	21,456,447	2,001,222	8,971,011
紫波センター	142,024	78,996	160,748	△ 18,724	△ 3,705,423
沼宮内センター	266,848	84,612	279,109	△ 12,261	△ 1,154,451
盛岡医療圏	23,866,541	2,317,965	21,896,304	1,970,237	4,111,137
県立病院全体	103,995,855	15,261,043	104,490,636	△ 494,781	△ 46,474,189

(グラフ単位:百万円)

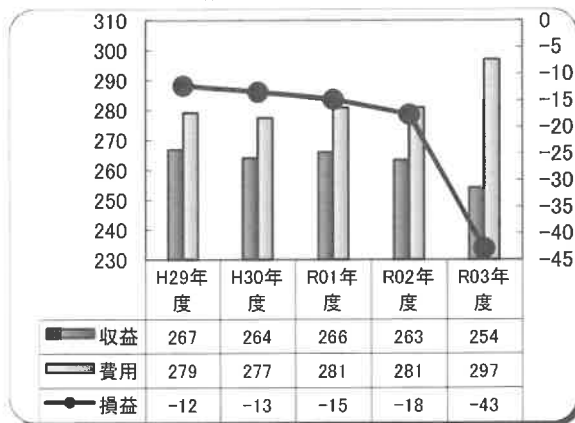
中央病院



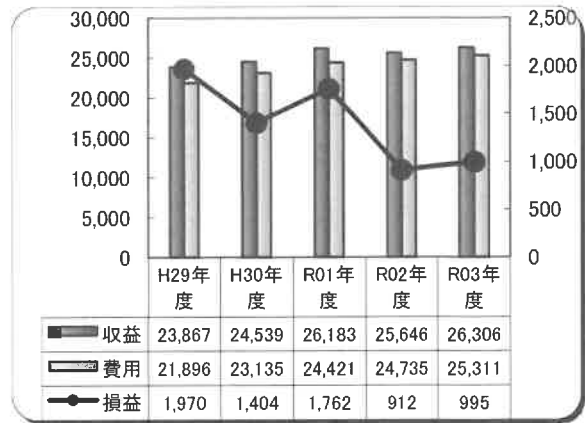
紫波センター



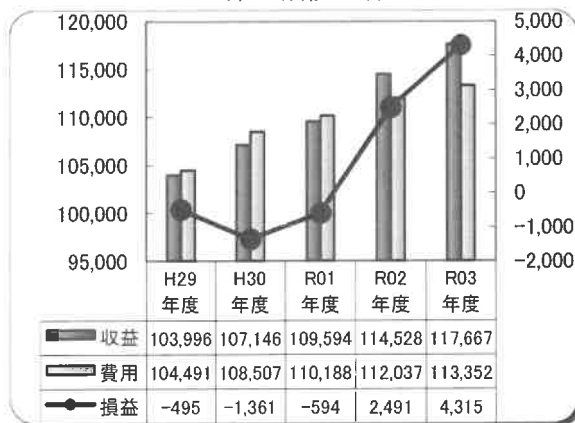
沼宮内センター



盛岡医療圏



県立病院全体



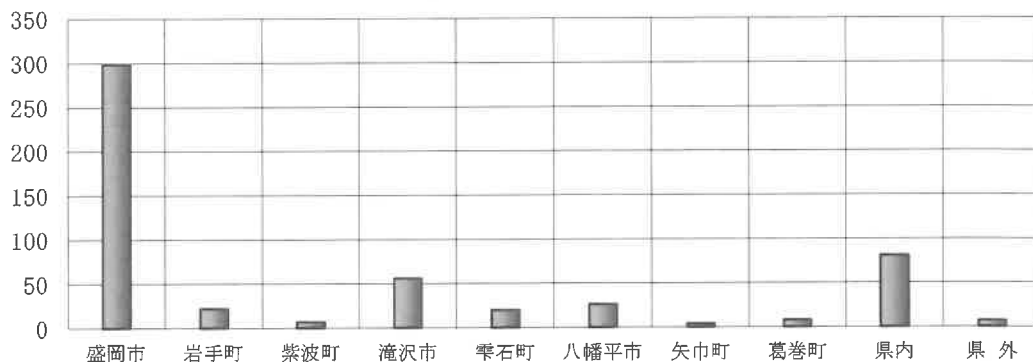
5 盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況

令和4年11月1日現在患者数

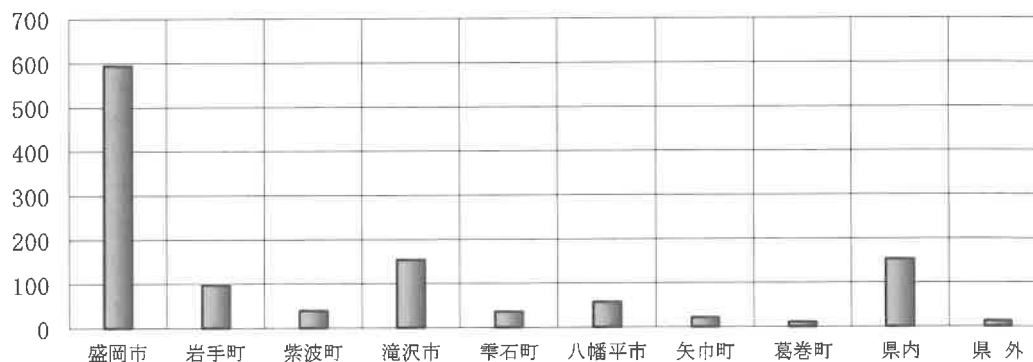
(単位:人)

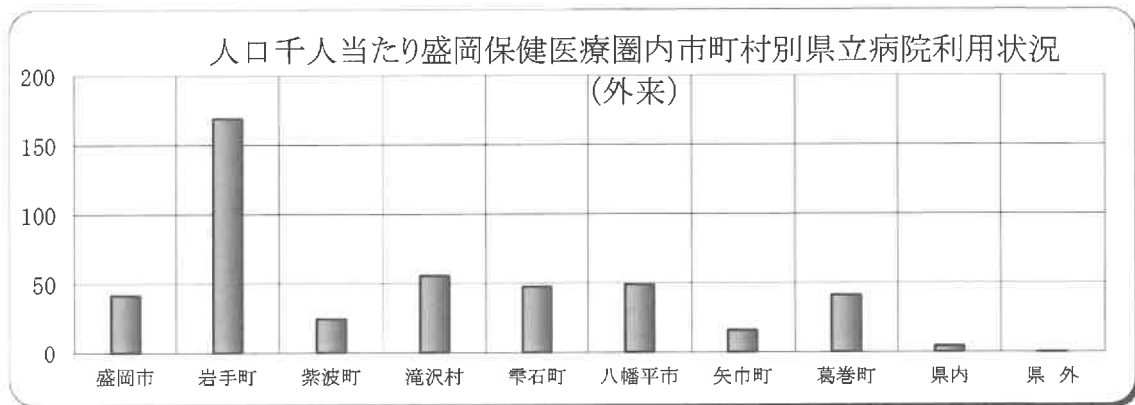
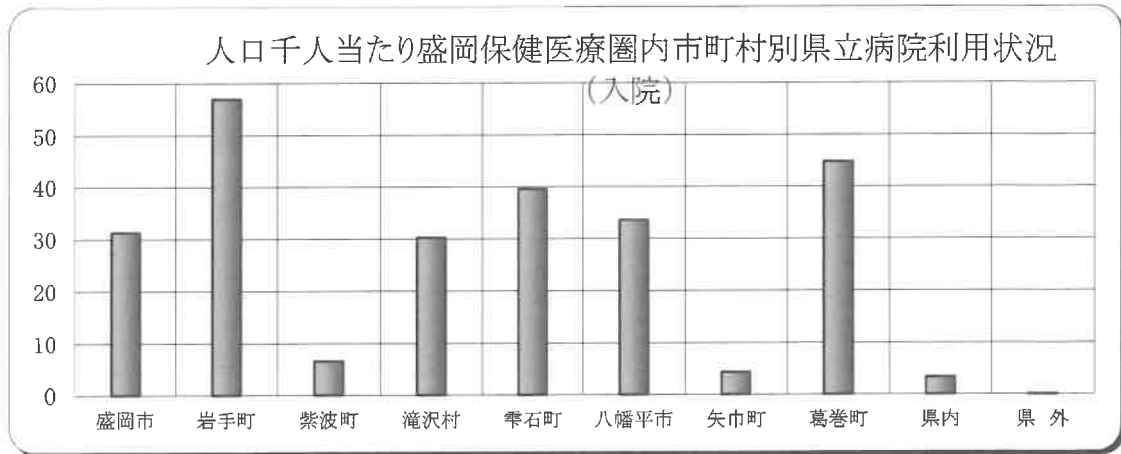
区分	入院				外来				人口千人当たり患者数	
	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計	入院	外来
盛岡市	299			299	593		1	594	31	42
岩手町	22			22	27		71	98	57	169
紫波町	7			7	23	16		39	7	24
滝沢市	56			56	154			154	30	56
雫石町	20			20	36			36	40	48
八幡平市	26			26	57			57	34	49
矢巾町	4			4	22			22	4	16
葛巻町	8			8	10		1	11	45	41
県内	81			81	152	1		153	3	4
県外	7			7	13			13	0	0
合計	530	0	0	530	1,087	17	73	1,177		

盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況(入院)



盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況(外来)





6 盛岡保健医療圏内救急患者数状況

(1) 救急患者数状況(1日平均)

(単位:人)

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
中央病院	58	58	58	46	48
紫波センター	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1
沼宮内センター	0.3	0.4	0.5	0.0	0.2
盛岡医療圏	59	58	59	46	49
県立病院全体	345	339	327	256	275

【参考】

区分	R4.11月累計
中央病院	51
紫波センター	0.1
沼宮内センター	0.3
盛岡医療圏	51
県立病院全体	

(2) 救急車搬送状況

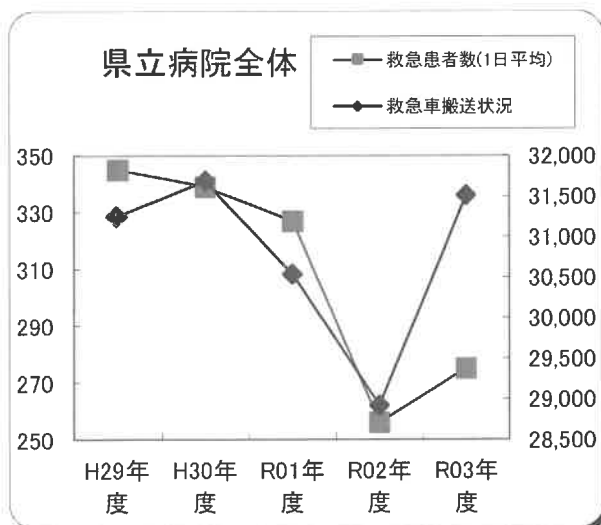
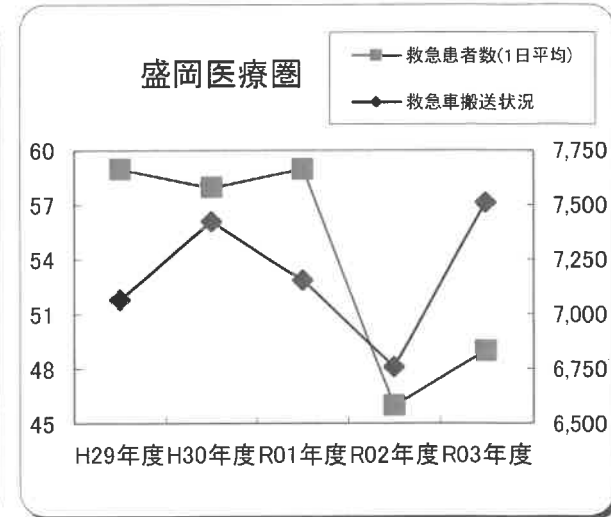
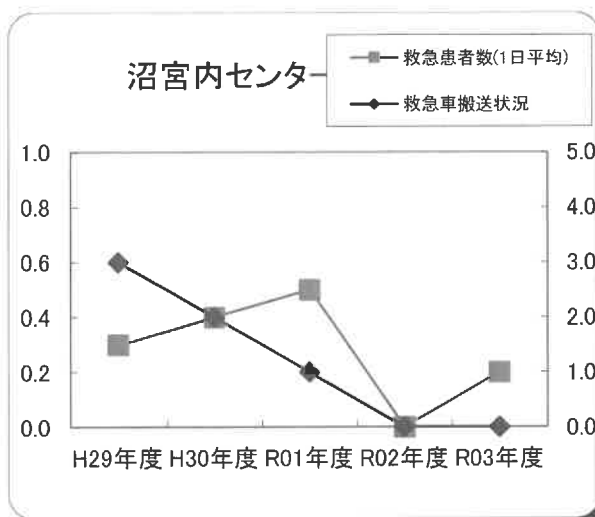
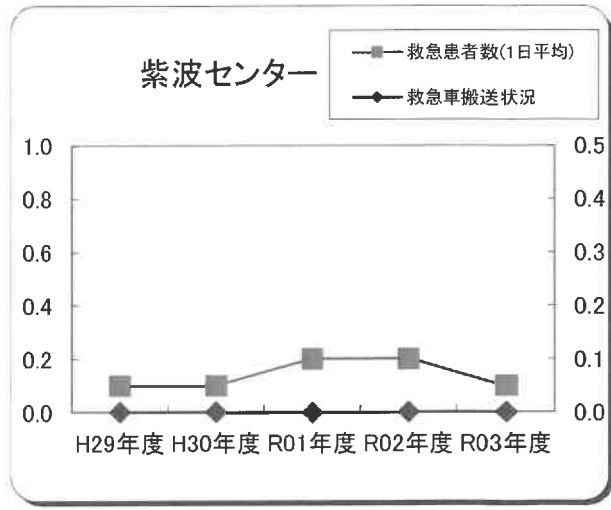
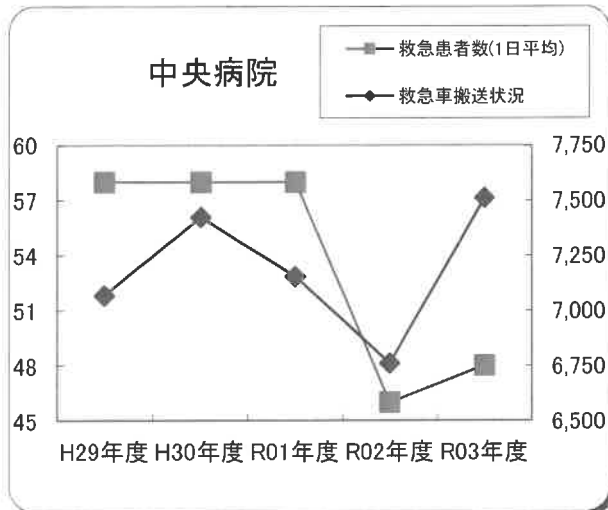
(単位:人)

区分	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
中央病院	7,067	7,423	7,155	6,759	7,512
紫波センター	0	0	0	0	0
沼宮内センター	3	2	1	0	0
盛岡医療圏	7,070	7,425	7,156	6,759	7,512
県立病院全体	31,256	31,690	30,539	28,918	31,512

【参考】

区分	R4.11月累計
中央病院	5,567
紫波センター	0
沼宮内センター	0
盛岡医療圏	5,567
県立病院全体	

(グラフ単位:人)



2022年度岩手県立中央病院事業運営方針

**Advanced medicine by
All staff
Along the wish of patients**

—新中央病院経営5カ年計画— 2019年度～2023年度 (計画4年度)

- 【目的】 高度急性期医療を推進し、県民に信頼される病院
【役割】 県立病院のセンター病院として県民医療の安定的供給に向けた基盤の整備
【行動指針】 良質な医療の提供、次世代医療人の育成、地域医療への貢献、救急医療の充実、災害医療の体制整備、健全で効率的な病院運営、魅力ある職場環境整備

☆ 2022年度最重点取組事項

- 1 救命救急センターの運用確立と他病棟との機能分担
- 2 総合診療科と救急科との連携強化による救急患者対応体制の最適化
- 3 電子カルテ更新に向けた準備
 - ・ 効率的な診療を可能にする電子カルテの運用体制の根本的見直し
- 4 ICT活用による県立病院間、あるいは地域医療機関との連携の効率化
 - ・ オンラインで可能な業務の拡大と効率的運用の推進
- 5 働き方改革に向けた取組の推進
 - ・ 業務効率化の推進、グループ診療等による適切な休養確保
- 6 目指す機能を果たすために本当に必要な多職種協働のあり方見直し
 - ・ “仲良しグループ”ではない、最大の成果を出すためのチーム構築
- 7 ハラスメント対策の推進
 - ・ アンガーマネジメントの推進、メンタルケアの推進継続



将来の医療提供体制変革への対応

1 良質な医療の提供

(1) 5疾病6事業を中心とした医療機能の充実・強化

○5疾病

- ・がん診療のTQM検討開始(診療科横断的プロジェクトチーム編成と各種データ収集からスタート)
- ・脳卒中(SCUを中心にICU、HCU、ERの運用工夫)
- ・急性心筋梗塞
- ・糖尿病
- ・精神疾患

○6事業

- ・救急医療、災害医療、へき地医療
- ・周産期医療
- ・小児医療
- ・感染対策←新型コロナウイルス感染症への対応と結核モデル病床設置とその感染症病床としての利用

○MRI3.0T導入

○術後回復促進戦略の取り組み

- ・鎮痛、リハビリテーション、栄養の連携強化による回復促進
- ・パスの再構築

○臨床研究・治験支援体制整備

(2) 多職種間の協働等によるチーム医療の推進

- 目指す機能を果たすために本当に必要な多職種協働のあり方見直し
- ・"仲良しグループ"ではない、最大の成果を出すためのチーム構築

(3) 患者・家族の思いに沿う体制強化

○病院全体としての臨床倫理カンファランス活動の推進

- ・身体抑制回避の具体的手順の検討

○メディエーションスキルの習得と普及

○音楽療法導入推進

(4) 安全・安心な医療の提供

○医療安全対策の推進・強化

- ・ポリファーマシー対策の推進(薬剤科でのパターン分析、疾患治療検討会)
- ・心理的安全性確保による情報共有促進

○感染管理対策の強化

- ・COVID-19(新型コロナウイルス感染症)への対応

(5) 地域連携の強化

○入退院支援センターの機能拡張と強化

○ICT活用による県立病院間、あるいは地域医療機関との連携の効率化

- ・オンラインで可能な業務の拡大と効率的運用の推進

○病・病連携の推進

- ・入院患者の早期転院戦略(肺炎パスや尿路感染症パス等の普及、患者に納得して退院してもらえる仕組み作り)

○病・診連携の推進、医科・歯科連携の推進

- ・再来患者数の適正化
- ・逆紹介戦略、「病院」から「かかりつけ医」への流れを強化

○地域包括ケアシステムへの参画

- ・介護機関との情報交換強化

○地域住民の自己健康管理意識促進(ホームページからの発信)

○病院ホームページ活用による有効な情報提供

(6) 新病院構想の検討開始

区分	令和4年度事業運営方針(下線部分は追加・変更点)
2 次世代医療人の育成	<p>(1) 医師確保に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修医の確保及び専攻医獲得戦略の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・フルマッチを目指したリクルート活動の推進 ・専門分野に専念し十分な専門性熟達を得られる体制整備 ○ベテラン医師の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・集中治療専門医、救急専門医、病院総合診療医の確保 ・各領域専門性を持ったシニア医師が総合診療医となるキャリアモデル構築(ジェネラリストとして院内で活躍し、更に地域病院でも活躍してらえるような枠組み作り) <p>(2) 各職域における計画的な人材育成推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各職域のキャリアデザインによる専門資格職員の計画的育成と支援 ○特定行為に係る看護師の計画的育成支援 ○各職域スペシャリストの育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・技術の習得・技能の向上・資格の取得支援 ○BLSなど職員全体に対する教育の強化 <p>(3) 各分野における先駆的取組施設との交流推進</p> <p>(4) アカデミックセンター構想の検討</p>
3 地域医療への貢献	<p>(1) 医師派遣依頼への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県立病院間、へき地医療機関などへの戦略的支援 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の働き方改革、救命救急センター認定等新たな要件にも対応可能な支援体制の構築 <p>(2) 診療機器の有効利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○画像提供、遠隔病理、機器共同利用の促進(専門外来のオンライン診療) <p>(3) 地域医療連携協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ニーズの抽出と情報提供
4 救急医療の充実	<p>(1) ER病棟の運用確率</p> <ul style="list-style-type: none"> ○救命救急センターの運用確立と他病棟との機能分担 <p>(2) 総合診療科と救急科との連携強化による救急患者体制の最適化</p> <p>(3) 救急医療に関する教育活動と専門医の確保・育成</p>
5 災害医療の体制整備	<p>(1) DMAT隊員の計画的養成推進</p> <p>(2) BCP(事業継続計画)を活用した取り組み</p> <p>(3) 多数の傷病者を想定した災害訓練等の実行</p> <p>(4) CBRNE災害への準備</p>

区分	令和4年度事業運営方針(下線部分は追加・変更点)
6	健全で効率的な病院運営 <ul style="list-style-type: none"> (1) 収益の確保と費用の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ○DPC特定病院群の維持と係数の向上努力の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>診療報酬改定に対応した新規・上位施設基準の早期取得の促進</u> ○コスト意識定着のための情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・経営指標に特化した情報のまとめと配信 ・病院経営的まめ知識 (2) 院内の情報管理体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○院内情報伝達手段の効率化 ○<u>電子カルテ更新に向けた準備</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>効率的な診療を可能にする電子カルテの運用体制の根本的見直し</u> ○診療録監査の継続
7	魅力ある職場環境整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 職員が働きたくなる環境整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ハラスメント対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・アンガーマネジメントの推進 ○職員のやりがい発見支援 <ul style="list-style-type: none"> ・成果に照準/承認の文化醸成 ○定年後人材、ボランティアが働きたくなる環境整備 ○職員のスキルアップに対する支援(時間と資金) ○院内空きスペースの有効活用 (2) 働き方改革に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○<u>業務効率化の推進(タスクシフト・タスクシェア等の推進)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者の完全予約制検討 ・グループ診療等による適切な休養確保 ・外来診療室の流動的運用の検討 (3) 健康管理体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○産業医及び臨床心理士等が一体となった<u>メンタルケアの推進継続</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>スタッフのメンタル回復、強化の仕組み構築</u> (4) 職員の業務負担軽減推進 <ul style="list-style-type: none"> ○各部門における業務の効率化、タスクシフト・タスクシェアの推進 ○<u>クラーク業務の効率化と教育体制の検証・改善</u> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>業務内容の整理と見直しによる業務の効率化(医師の業務負担軽減)</u> ・<u>新採用者研修の取組検証、改善による教育体制の強化</u>

令和4年度岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センター事業運営方針

【基本理念】

私たちは、地域の皆様の健康を守るため心の通った満足度の高い医療の提供に努めます。

【基本方針】

- 1 私たちは、より良い医療を安全に提供するよう努めます。
- 2 私たちは、プライバシーや人権を配慮いたします。
- 3 私たちは、地域診療所として他の医療機関や保健・福祉施設と連携し良質な医療の提供を受けられる診療所をめざします。
- 4 私たちは、不断の学習・研鑽に努め、科学的根拠に基づいた質の高い医療をめざします。

重点事項	展開方法
I 良質な医療が提供できる環境の整備 1 医療安全対策の推進 2 医療の質の向上 3 地域との協働による診療所運営	<ul style="list-style-type: none"> ・医療事故防止、院内感染予防対策の徹底 ・インシデントレポートの分析と対策の徹底 ・各種マニュアルの遵守 ・「職業倫理」及び「患者様の権利と責務」の遵守 ・インフォームド・コンセントの徹底 ・個人情報保護法の遵守 ・精度管理の徹底と評価、分析(臨床検査科・診療放射科) ・保健、医療、福祉の連携による公衆衛生活動等の推進 ・地域住民の生活習慣病予防対策への積極的参加 ・新型コロナワクチン接種への積極的参加
II 診療体制の充実 1 医師の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・標榜診療科の継続と充実 ・県立中央病院との連携推進による特定外来診療等の継続と充実 (小児科、脳神経外科、皮膚科、整形外科、糖尿病・内分泌内科応援) ・町内の医療機関との連携強化
III 効率的な医療提供体制の構築 1 運営体制の効率化と適正化 2 費用の抑制 3 収益の確保 4 未収金対策	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の一体的運営の円滑化・効率化の推進 ・新しい経営計画への取組み ・薬品、診療材料等の整理統一及び在庫管理の徹底 ・超過勤務時間数の縮減 ・経営目標の設定と管理 ・診療報酬の適正算定 ・査定減対策と再審査請求の促進 ・県立中央病院との連携による定期的な未収金回収 ・関係部門連携による未収金の発生防止
IV 職員の資質と満足度の向上 1 人づくり 2 働きやすい職場環境	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への職員派遣 ・各部門ごとの積極的な職場研修会の推進 ・働きやすい職場環境づくりへの取組み ・職員全員参加によるミーティングの開催(委託職員含む)

令和4年度 紫波地域診療センター事業運営方針

【基本理念】

私たちは、患者さんのプライバシーを守り、患者さんに平等な医療の提供を行い、地域の皆様から信頼されるように努めます。

【基本方針】

1. 地域に密着した良質な医療サービスの提供を行います。
2. 安心して治療を受けられる環境を整備します。
3. 適切な医療情報の提供を行います。
4. 職員は信頼しあい、能力と個性を發揮し、「紫波地域診療センター」の発展と互いの向上に努めます。

重点項目	展開方向	担当部門
I 県立病院間・他の医療機関及び介護施設を含めた役割分担と地域連携の推進	① 県立病院群の一体的運営・効率的な運営 ・圏域内における一体的な運営の推進 ・圏域を越えた医師派遣などの連携強化	全部門
	② 地域診療センターが担うべき役割と機能・病床機能の適正化 ・地域包括ケアを踏まえた医療提供体制の改革への対応	全部門
	③ 他の医療機関・介護施設等との役割分担と連携 ・地域包括ケアシステム構築への参画	全部門
	④ 地域との協働による病院運営 ・ホームページや紫波町広報等による情報発信 ・地域懇談会の開催	全部門
II 良質な医療を提供できる環境の整備	① 医療安全対策の推進 ・チェックリスト・マニュアルの活用 ・インシデントレポートの提出推進と複数確認を行う ・声だしチェック行為の励行 ・事故防止と原因究明意識の高揚	全部門
	② 感染対策の推進	全部門
	③ 患者満足度の向上 ・患者満足度調査の実施と結果の共有、改善の働きかけ	全部門
III 医師不足解消に向けた医師の育成・確保と医師の負担軽減に向けた取組の推進	① 圏域内病診連携、診診連携の推進 ・中央病院、盛岡日赤、岩手医大等との連携 ・紫波郡医師会との連携	医局
	② 他圏域への診療応援実施	医局
IV 職員の資質向上と人員の適正配置	① 各種学会・研修会の積極的機会提供	全部門
	② 職場研修の推進	全部門
	③ コミュニケーションの円滑化	全部門
V 持続可能な経営基盤の確立	① 収支の進捗管理	事務局
	② 業務の見直しと効率化	全部門
	③ 計画的な機器の整備	全部門
	④ 査定防止への取組徹底と再審査請求の促進	事務局・医局
	⑤ 予防接種や健康診断の積極的な受入れ	全部門
	⑥ 診療報酬の適正算定	事務局
	⑦ 省エネ推進による電気、重油の適正使用	全部門
	⑧ 省エネ推進による電気、重油の適正使用	全部門

令和3年度岩手県立病院等事業会計決算概要

(単位:千円、%)

損益計算書前年度比較

科目	年度		令和3年度		令和2年度		比較増減		摘要				
	金額	構成比	金額	費用 医収	金額	構成比	金額	増減率					
	A		B		C=A-B	C/B							
1 医業収益	92,466,318	78.6	89,315,569	78.0	3,150,749	3.5	1年間患者数 (人)						
(1)入院収益	57,611,512	49.0	56,084,216	49.0	1,527,296	2.7	区分	入院	外来				
(2)外来収益	28,707,904	24.4	27,512,624	24.0	1,195,280	4.3	令和3年度	a	1,089,223	1,700,620			
小計	86,319,416	73.4	83,596,840	73.0	2,722,576	3.3	令和2年度	b	1,089,600	1,666,259			
(3)その他医業収益	6,146,902	5.2	5,718,729	5.0	428,173	7.5	比較	a-b(c)	△377	34,361			
2 医業外収益	25,150,546	21.4	23,523,811	20.5	1,626,735	6.9	増減	c/b	△0.0%	2.1%			
3 特別利益	50,270	0.0	1,688,622	1.5	△1,638,352	△97.0	2 一日平均患者数 (人)						
収益合計	117,667,133	100.0	114,528,002	100.0	3,139,131	2.7	区分	入院	外来				
(うち一般会計繰入金)	(15,659,052)	(13.3)	(15,636,462)	(13.7)	(22,590)	(0.1)	令和3年度	a	2,984	7,027			
1 医業費用	107,115,142	94.5	104,077,477	92.9	3,037,665	2.9	令和2年度	b	2,985	6,857			
(1)給与費	58,891,658	52.0	58,220,742	52.0	670,916	1.2	比較	a-b(c)	△1	170			
(2)材料費	25,102,720	22.1	23,932,508	21.4	1,170,212	4.9	増減	c/b	△0.0%	2.5%			
(3)経費	14,880,053	13.1	14,002,141	12.5	877,912	6.3	3 患者一人一日当り平均収益 (円)						
(4)交際費	24	0.0	29	0.0	△5	△17.2	区分	入院	外来				
(5)減価償却費	7,711,152	6.8	7,508,746	6.7	202,406	2.7	令和3年度	a	52,892	16,881			
(6)資産減耗費	198,855	0.2	129,460	0.1	69,395	53.6	令和2年度	b	51,472	16,512			
(7)研究研修費	330,680	0.3	283,851	0.3	46,829	16.5	比較	a-b(c)	1,420	369			
2 医業外費用	6,180,776	5.5	6,136,716	5.5	44,060	0.7	増減	c/b	2.8%	2.2%			
(うち支払利息)	(1,283,770)	(1.1)	(1,439,923)	(1.3)	(△156,153)	(△10.8)	4 病床利用率(稼働病床) (%)						
3 特別損失	56,210	0.0	1,822,558	1.6	△1,766,348	△96.9	区分	一般	療養	結核	精神	合計	
費用合計	113,352,128	100.0	112,036,751	100.0	1,315,377	1.2	令和3年度	a	69.0	64.1	15.2	58.8	66.6
医業損益	△14,648,824	-	△14,761,908	-	113,084	0.8	令和2年度	b	69.0	58.8	3.0	60.6	66.4
経常損益	4,320,945	-	2,625,187	-	1,695,758	64.6	比較増減	a-b	0.0	5.3	12.2	△1.8	0.2
純損益	4,315,005	-	2,491,251	-	1,823,754	73.2	5 診療実日数 (日)						
年度未累積欠損金	41,622,725	-	45,937,730	-	-	-	区分	入院	外来				
医業収支比率	86.3%	-	85.8%	-	0.5%	-	令和3年度	a	365	242			
経常収支比率	103.8%	-	102.4%	-	1.4%	-	令和2年度	b	365	243			
総収支比率	103.8%	-	102.2%	-	1.6%	-	比較増減	a-b	0	△1			

県立病院運営協議会等要綱

(協議会の設置)

第1条 二次保健医療圏内の県立の病院の円滑な運営を図り、もって地域住民の医療及び保健衛生の向上に寄与するため、別表に掲げる病院に県立病院運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について、協議会の病院の長(以下「病院長」という。)の諮問に応じ、又は建議することができる。

- (1) 二次保健医療圏内の県立の病院の円滑な運営に必要な事項
- (2) 保健衛生活動の協力に関する事項
- (3) その他病院長が必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会は、原則として委員25人以内をもって組織する。

2 委員は、市町村、関係行政機関、社会保険団体、医療関係団体、社会福祉関係団体、学校、事業所、婦人団体青年団体等の代表者及び学識経験者のうちから医療局長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、病院長が招集する。

- 2 会議は、定例会及び臨時会とし、定例会は年1回、臨時会は必要に応じて招集する。
- 3 会議は、必要に応じて他の協議会と合同で開催することができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、病院において処理する。

(地域懇談会)

第8条 県立の病院の運営に関し、地域住民から意見、提言等を得て病院運営上の参考とするため、病院に県立病院地域懇談会を置く。

2 県立病院地域懇談会の組織及び運営に関し必要な事項は、病院の長が定める。

附 則

この規程は、昭和46年4月12日から施行する。

附 則

この規程は、昭和57年1月16日から施行する。

附 則

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

別表(第1条関係)

病院
岩手県立中央病院
岩手県立宮古病院
岩手県立大船渡病院
岩手県立胆沢病院
岩手県立中部病院
岩手県立久慈病院
岩手県立磐井病院
岩手県立釜石病院
岩手県立二戸病院